

世界ジオパークのユネスコ正式事業化決定にかかる祝福コメント等

11月17日、フランスのユネスコ本部で開催されている第38回ユネスコ総会において、これまで、ユネスコの支援事業として行われてきた世界ジオパークネットワークの活動が、ユネスコの正式事業となりました。

この決定に対する山陰海岸ジオパーク推進協議会の会長及び顧問のメッセージをお知らせいたします。

1 会長コメント

中貝 宗治 会長（豊岡市長）

ユネスコの正門が開きました。世界のジオパーク関係者の活動がユネスコの正式プログラムとして結実して、本当に嬉しく、誇らしく思います。山陰海岸ジオパークは、さらに高みを目指してまいります。

2 顧問コメント

山田 啓二 顧問（京都府知事）

「世界ジオパーク」がユネスコの正式プログラムとして承認され、うれしく思います。

山陰海岸ジオパークについては、これを機会に、世界各国から訪れる皆様に山陰海岸の魅力を感じていただけるよう、住民や有識者、ガイド、行政など、ジオパーク活動に携わる様々な方が一丸となって、さらに活動の幅を広げるとともに、地域の振興に繋げてまいります。

井戸 敏三 顧問（兵庫県知事）

本日、ユネスコ総会において、「世界ジオパーク」がユネスコの正式事業として承認されました。心待ちにしていた吉報です。世界遺産と並び、ジオパークが国際社会から一層高く評価されることは大変喜ばしいことです。また、国内で認定済みの8地域に加え、今後認定を目指す地域にも、今回の決定は大いに刺激となるでしょう。

山陰海岸ジオパークについては、今後とも、住民や学界、行政など地域一丸となって、さらなる活動の幅を広げ、訪れる皆さんに満足していただける「世界一のジオパーク」を目指してまいります。

平井 伸治 顧問（鳥取県知事）

私たちの世界的な運動が実り、ジオパークも世界遺産と同じユネスコ正式プログラムに昇格したことは、山陰海岸等の注目度向上など大きな弾みとなるもので、この上ない喜びだ。

国際的ステージが上がったこれからが大切。他のジオパークと手を携え、山陰海岸ジオパークの保全と活用を飛躍的に発展させ、世界のジオパーク運動で中心的役割を果たしていく決意だ。

日本ジオパークネットワーク

<http://geopark.jp/about/datacenter/>